

人間の安全保障無償資金協力：バストス養護学校増築計画



関係者の皆さん（左端：丸橋次郎総領事代理、
右から2人目：サチコ・ハヤシ・バストス APAE 会
長）

写真提供 Bastos Ja



日本の支援により完成した屋根付き運動場及び教室
？

6月16日、サンパウロ州バストス市の「バストス障害者を支える親と友の協会（バストス APAE）」において、当館が実施した草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式が行われました。

同式典は、日本の支援により新たに増築された同団体の屋根付き運動場を会場に開催され、丸橋次郎総領事代理、バストス APAE のサチコ・ハヤシ会長、バストス市のナタリーノ・シャール市長をはじめ、近隣の市からも多くの人々が集まりました。

バストス APAE のサチコ・ハヤシ会長は、式典において、「このたびの増築により APAE 通園者の増加を図ることができる。このような支援をして頂いた日本

国民に対し深く感謝したい。」と挨拶されました。

同市は日本人移民の入植地として有名な町ですが、市内のメイン通りにも、我が国への謝意を示す横断幕等が飾り付けられ、同市全体が日本の支援に沸いた1日となりました。

○ 上記案件のプロフィール

案件名：「バストス障害者を支える親と友の協会増築計画」

被供与団体：バストス障害者を支える親と友の協会（バストス APAE）

契約署名日：2004年8月4日

供与限度額：89,277米ドル
案件概要：



APAE

は知的・身体障害者とその親を支援する非営利団体です。このたびの支援は、バストス **APAE** の教室を増築し、その受け入れ人数を63名から100名に増加させるとともに、通園する障害者が運動を行うための体育館を建設し、教育環境の改善を図ったものです。